

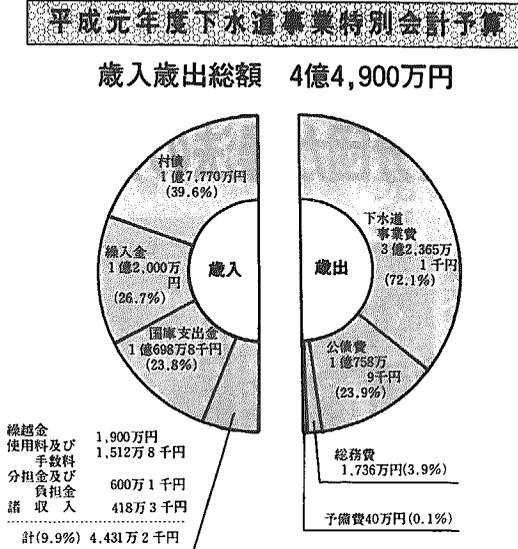
昨年度末に二本木汚水中継ポンプ場が完成して、二本木地区の一部でも希望の供用が開始されました。

本村の公共下水道は、昭和五十四年度に着手し、この十年間で投下した事業費は二億三千万円。整備面積五・一ha、処理可能戸数五九七戸(一、一六六戸)の内水化戸数三三三七戸(一、一四二戸)で水消化率五六%となりました。

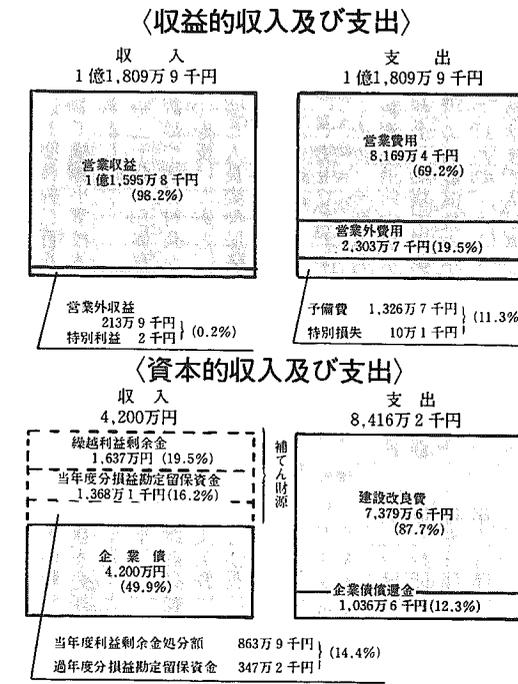
平成元年度予算総額は、四億四、九〇〇万円となり、前年度に比べ三、三〇〇万円(七・九%)の増となっています。

下水道事業特別会計予算

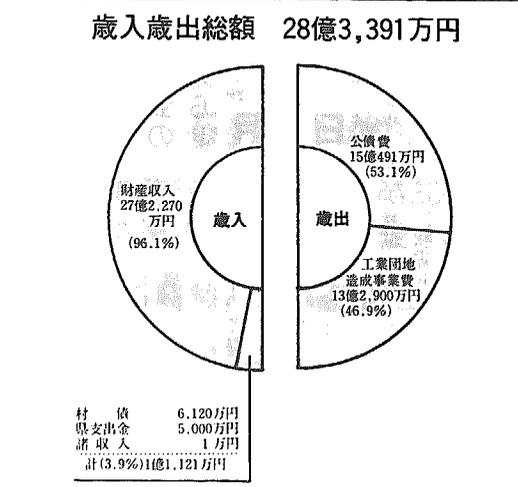
事業認可区域の拡大をめざす



平成元年度水道事業会計予算



平成元年度工業団地造成事業特別会計予算



国税庁官採用試験

○受験資格
昭和37年4月2日から昭和43年4月1日生まれの者

○試験の程度
大学卒業程度

○受験申込受付期間
5月16日から5月24日まで

○申込書請求先
国税庁または国税局

○申込書提出先
〒100東京都千代田区九段南一―一―一五 関東信越国税総合庁舎 関東信越国税局 人事第二課試験係

○試験日
第一次試験 7月8日、9日
第二次試験 9月11日、13日

○試験地
第一次 高崎市、新潟市ほか
第二次 高崎市

○採用予定数 約八〇〇名

水道事業会計予算

浄水場拡張工事が本格的にスタート

平成元年度水道事業会計予算は、業務の予定量を給水枠数二、三三〇検、給水人口九、一六〇人、年間総給水量九四万九、八一〇m³と見込んで編成されています。

収益的収支においては、収入、支出それぞれ一億一、八〇九万九千円となっています。資本的収支においては、収入四、二〇〇万円、支出八、四一六万二千円、収入が支出に対して不足する額四、二一六万二千円は、過年度分損

工業団地造成事業特別会計予算

年度内に完成し企業に売却

工業団地造成事業は、優良企業の誘致を図り、村の活性化、雇用の拡大、村財政基盤の確立をめざすもので、昨年度の用地取得に引き続き、今年度は造成工事に着手します。造成区域面積は一五・八haで、

平成元年度特別会計予算

4月号で一般会計予算をお知らせしましたが、村では一般会計のほかに、下水道、国民健康保険、老人保険、工業団地造成、家畜診療所の各事業が特別会計制度、水道が企業会計制度になっています。これら特別会計予算についてそれぞれお知らせします。

国民健康保険特別会計予算

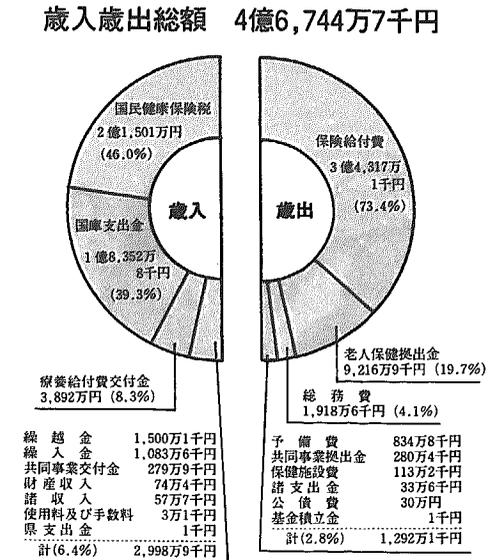
退職者医療費・老人保健拠出金などの増加で前年比七・九%の伸び

平成元年度国民健康保険特別会計予算は、退職者医療費、老人保健拠出金などの増加で率で七・九%、額で三、四二六万六千円の増となり総額で四億六、七四四万七千円に決まりました。

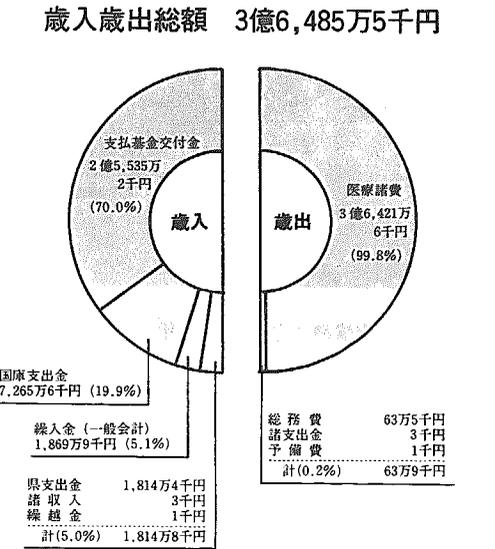
また、四月一日より消費税の導入により薬価基準の改正や診療報酬の改定により医療費にはねかえりが予想され厳しい財政運営が余儀なくされます。

ところで、皆さんから納めていただく保険料は、一世帯当たり平均約一八万三千円(約二千万円の増)、一人当たり平均

平成元年度国民健康保険特別会計予算



平成元年度老人保健特別会計予算



老人保健特別会計予算

入院者の減少により減額予算

平成元年度老人保健特別会計予算は、前年度比四・二%減の三億六、四八五万五千円に決まりました。

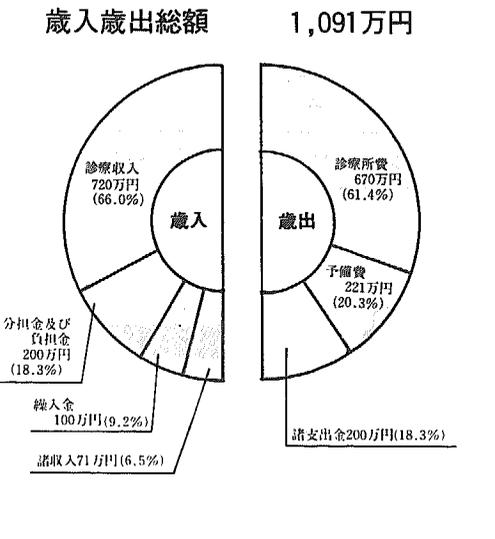
今年度の対象者は前年度より三〇人増えて九三〇人ですが、入院者数の減少により一人一人当たりの医療費は、前年度予算より約三万円減の約四〇万円を見込んだ予算とな

家畜診療所特別会計

畜産振興のため村直営で開設

家畜診療所は、これまで農業共済事業特別会計の中で運営されてきましたが、この四月からの新潟地域農業共済組合との広域合併に伴い、畜産農家ははじめ関係団体からの強い要望と、畜産振興の見地

平成元年度家畜診療所特別会計予算



っています。入院者数は全体の三%から四%。医療費の約三億六、四〇〇万円の約半分が入院者の医療費として支払われ、あとは通院や歯科などに支払われます。

老人保健の歳出のほとんどは医療費となっており、それを賄う歳入は医療保険(政管健保・組合健保・般員保険・共済組合・国保)が七〇%、国が二〇%、県が五%、村が五%を負担し運営されています。

老人一人ひとりが病気の早期発見、早期治療に努め、自分の健康は自分で守るなど心がけ、健康な生活を送り医療費の節約を図りましょう。